

平成22年度九州史学会大会の御案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり、平成22年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようご案内申し上げます。 敬具

九州史学会大会次第

於九州大学

12月11日(土) シンポジウム

法文系講義棟101番教室(午後1時30分より)

「蔵書目録：知の表象の世界」

趣旨説明

九州大学 清水和裕

平戸藩主松浦静山の書物収集と情報交流 — 楽歳堂文庫蔵書目録の検討 —

九州大学 岩崎義則

目録を読む難しさ — 唐初の類書観を中心として —

九州大学 大淵貴之

西欧中世の書物と蔵書目録 — 方法論と諸成果 —

九州大学 岡崎敦

アラビア語の蔵書目録と書籍目録 — 史料と研究の可能性 —

神戸大学 伊藤隆郎

懇親会 福岡リーセントホテル(〒812-0053 福岡市東区箱崎2-52-1)(午後6時より) 会費5,000円(学生2,000円)

12月12日(日) 研究発表

(午前9時より)

<日本史部会> (法文系講義棟102番教室) <午前9時開始>

平安時代における坊官・官司の臣下服喪形態

九州大学 山下洋平

室町・戦国期島津氏の権力構造 — 家督継承における「悔返」と衆議を中心として —

九州大学 大山智美

天正期における筑前原田氏の政治的動向

九州大学 中牟田寛也

福岡藩黒崎鋳銭場と群像

北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室

梅崎恵司

「薩摩藩宝曆治水」像の再検討

鹿児島国際大学 山下幸太郎

宗家文庫史料にみる対馬藩の記録管理について — 「日帳目録」の分析を通して —

長崎県立対馬歴史民俗資料館

山口華代

吉田家の神職支配をめぐる対馬藩の動向

九州大学 藤井祐介

密航と領事館 — 清韓両国及香港居留日本人売淫取締規則設立一件 —

博多青松高等学校 大川由美

明治中期における監獄教誨 — 巢鴨監獄教誨師事件を再考する —

九州大学 赤司友徳

<東洋史部会> (法文系講義棟204番教室) <午前9時開始>

《シンポジウム》「モンゴル帝国の中国支配とその社会 — 石刻史料による成果と課題 —」

共催：科学研究費補助金基盤研究B「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究 元朝史料学の新展開をめざして」

趣旨説明

九州大学 船田善之

中国近世石刻研究の課題 — その材料と方法をめぐっての回顧 —

奈良大学 森田憲司

水利碑から見た分地支配と社会 — 山西ジョチ家投下領の事例をもとに —

早稲田大学 井黒忍

「答里真官人(ダーリタイ・オッチギン)位」の寧海州分地について

大阪国際大学 松田孝一

石刻資料から見た探馬赤軍の歴史

龍谷大学 村岡倫

研究発表

前漢武帝の封禅について

九州大学 井上雄介

前漢における刑罰について — 死刑の問題を中心として —

九州大学 塩田孝浩

光武帝期の官制改革とその影響

九州大学 植松慎悟

盧思道と隋 — 北齊系士人の正統観 —

九州大学 稲住哲朗

刑科題本と乾隆10年山西大同府天鎮県開賑案

北九州市立大学 堀地明

台湾人の戦後処理 — 『戦犯』と『漢奸』を中心として —

尚綱大学 和田英穂

中国における「SOS子ども村」の一考察 — 新疆ウイグル自治区「SOS子ども村」の事例から —

筑紫女学園大学 崔淑芬

五胡・北朝期における北族的服制の展開 — 河西・朝陽・大同の出土文物を主たる題材として —

埼玉大学 小林聡

＜朝鮮学部会＞（法文系講義棟202番教室）＜午前10時開始＞

劉仁願紀功碑の復元と碑の史料価値	九州大学	濱田耕策
6世紀末・7世紀の東アジア情勢と高句麗の対倭外交	京都府立大学	井上直樹
唐代越喜鞬鞞の住地とその移動について	首都大学東京	赤羽目匡由
高麗時代の蔵経道場について	滋賀県立大学	安田純也
朝鮮時代における差定文書の淵源と機能	九州大学	川西裕也
朝鮮後期の漢江水運とその技術 —「生態環境の朝鮮史」のための予備的考察—	九州大学	森平雅彦
前間恭作の晩年 —三木栄・岩井大慧・小倉進平との交流について—	九州大学	白井順
地域活性化政策による伝統祭の変容と地域社会のコンフリクト —韓国江原道の「江陵端午祭」を事例として—	九州大学	申英根

＜イスラム文明学部会＞（法文系講義棟203番教室）＜午前10時30分開始＞

午前の部

1874年の、イスタンブールの女性たち —エドモンド・デ・アミーチス著『コンスタンティノープル』の記述から—	九州大学	東嶋望
国際法学におけるイスラーム国際法の諸議論の位置づけ	九州大学	沖祐太郎
16世紀イスタンブールの街区とイマーム：ワクフ管財人としての役割をめぐって	東京大学	守田まどか

午後の部

カーディーの町イブラドゥ：アナトリアの—地方社会から見る18世紀オスマン帝国	千葉大学	秋葉淳
12世紀ホラーサーンにおけるウラマーの「よそ者」観 —サムアーニーの記述を手掛かりに—	九州大学	西村淳一
ハドラマーの移動・移住とフード参詣	東洋大学	栗山保之
グルジア武人とサファヴィー朝権力	首都大学東京	前田弘毅

＜西洋史部会＞（法文系講義棟301番教室）＜午前10時開始＞

都市ティールとその郊外 —古代における状況と関係—	広島大学	奥山広規
カロリング朝初期における文字文化 —シャルルマーニュの王文書を素材として—	福岡大学	梅津教孝
ルイ15世治世下のフィナンシエ —パリ兄弟の実像—		丹後享
フランス第三共和政期における児童保護の展開 —若干の論点の整理—	熊本学園大学	岡部造史
欧州審議会における連邦主義的理念の追求 —ヨーロッパ共通性の議論を中心に—	九州大学	高津智子
クロソン判決に帰結したヴァージニア州 リッチモンド市のアフターマティプ・アクション	大阪大学	安井倫子

＜考古学部会＞（法文系講義棟101番教室）＜午前9時30分開始＞

曾畑式土器出現過程に関する研究	朝倉市役所	倉元慎平
使用痕・残存デンプン分析からみた先史時代の脱穀・粉砕技術	弘前大学	上條信彦
福岡県飯塚市立岩堀田遺跡の再検討	九州大学	溝口孝司
福岡県内における炭鉱遺跡調査の現況	福岡県教育委員会	森井啓次
日韓古代火葬墓の比較研究 —日本古代火葬墓の系譜をめぐって—	奈良文化財研究所	小田裕樹
韓国環濠集落の成立と展開	亜細亜文化財研究院	裴徳換
韓半島における初期鉄器時代の編年再考 —楽浪設置以前の資料を中心として—	九州大学	金想民
中央ユーラシアの青銅器文化と中国初期青銅器	九州大学	松本圭太

当日は、入口の各部会受付にて、参加費1,500円（2日間）をお支払いください。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部九州史学会事務局（朝鮮史学研究室） 電話 092-642-2382

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp; http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/shigakkai/